

6－神奈川県 H18年6月報告 飼育支援のため自治体と連携している獣医師会と事業内容

全国学校飼育動物獣医師連絡協議会主宰 社) 日本獣医師会 学校動物飼育支援対策検討委員会副会長 中川美穂子

地域 活動初年度	対象	会員	活動内容	治療報酬	現場指導、講習会	予算
相模原市 H1年	53校	27	基準料金を定め、獣医師会員が治療を行う。 利用率を会で把握していない 毎年、飼育優良校を表彰し、動物愛護にかかわる講演会を開いている。 H16年度末、家畜保健所の協力で、飼育担当者の為の講習（鳥インフルエンザ）を行った	基準料金、各人で請求	今のところ行っていない H16年度末に鳥インフルエンザ講習を開催した。	治療後に支払われる
秦野市 委託契約 H9年度	27 幼稚園 小学校	10	「学校飼育動物診療及び飼育相談委託事業」訪問指導 2、治療 3、講演 4、授業を行う。 H13、治療が主な活動になっている	来院のみ契約内 実績集積中	全校訪問、他に教師、児童、保護者に講演 H13 希望が減少	約20万円 治療に比して獣医師に配分する
茅ヶ崎市 H9年度	18校	14	「学校飼育動物アドバイザー事業」 1、飼育及び衛生指導：2人1組で年間9校。 2、治療：一定の基準を設けて、治療を行う。 予算にゆとりのある時には、不妊手術を行う 3、飼育相談：H16年度より 4、他 H15年教員向け講習会（鳥インフルエンザ） H16 全羽にニューカッスルワクチン接種	治療費として市内部に40万円計上 H16年度実績 142653円	年間8校を2人1組で訪問する。2年で全校を訪問する。 H16年度9校他 必要により往診にて指導もおこなう	市内部の予算 44万円（訪問2万円/回、他は治療費） H16年不定期訪問も予算かの予定
大磯町 委託契約 H9年度	2校 5園	担当 1名 全5	学校飼育動物管理委託事業 1、飼育指導：必要に従い随時行う。他に児童、教師PTAなどに講話を行う。 2、病気の治療、不妊手術	事業費に含まれる	全校・園を訪問する	委託費 10万円
藤沢市 H11年度 契約無し	36校 養1	30	教育委員会と協議して、飼育指導、施設の改善指導、治療などを行い、H14年度から2年間制度試行期間へて H16 訪問6校 講習会1回 H17 学校訪問 6～8校 飼育担当教諭に対する講演会 1回 飼育担当教諭に対する定期刊行物 月刊～季刊 平成11年、平成12年 生活科：視察・指導、講演：年1回 H13 “飼育の実態”把握中、講習会、訪問指導（子ども達に指導後に終了証（KID’S VET）を授与） H14年度「学校飼育動物のすべて」を図書館と全小学校に寄贈（53冊）H15年度「みんなで育てよう学校飼育動物」訪問校に永久貸し出し。日用品として衛生備品を寄贈	各人の裁量	過去2年間実施を踏まえ、H13年から、飼育担当教師講習会1回と学校訪問実施希望校を訪問 H17 6から8校程度 H13年 4校 H14年 6校 H15年6校 H16 6校 講習会1回	市から約60万円 委託業務の形取らず H13、8万円 H16年 70万円
海老名市 H11年度	13校	5	学校飼育動物の経歴は、開始して13年余り 現在教育委員会と話しあって、担当獣医師制にして、年に2回子どもと教師に飼育指導を行っている。教室で紙芝居、動物愛護のお話、飼育舎では、動物との「ふれあい」、健康診断、検便、治療なども行う。 H16、相模支部内の4市教育委員会と座間、大和、綾瀬各市獣医師とが「学校飼育動物委員会」を開催して、良い方法を検討している、海老名市教委から、謝礼として16年度は13万円を受領	宅診 無料診療 実績収集中	年に最低1回以上で担当獣医師が各校を訪問する 別に希望により健康診断、検便 必要なら複数回診療訪問している	H16年：謝礼 13万円 H13年まで謝礼・会に6万円図書券がH14・15年度はゼロだった
座間市	13校内 飼育10	1	特に取り決めは無い H16年、上記委員会で話しあいが始まった	宅診 個々の学校に対応 無料が多い	健康保全のため要請された時に、管理・衛生指導する	不明 行政内診療費
大和市	21校内 飼育13	13	特に取り決めは無いが H16年、上記委員会で話しあいが始まった	宅診 個々の学校に対応 個人の裁量	健康診断、検便・・・ 個々による飼育指導	H16から市教委内部予算 飼育指導・衛生費
綾瀬市 H16年度	13	4	綾瀬市予防保健課の犬猫環境対策事業の中で、飼育動物に係る飼育指導及び診療も助成されている H16年、上記委員会でも話しあいが始まった	宅診 個々の学校に対応 個人の裁量	健康保全のために要請された時 飼育・衛生指導する	犬猫環境対策助成金から他の事業と含み合わせて 4.5万円

6－神奈川県 H18年6月報告 飼育支援のため自治体と連携している獣医師会と事業内容

全国学校飼育動物獣医師連絡協議会主宰 社) 日本獣医師会 学校動物飼育支援対策検討委員会副会長 中川美穂子

小田原市 H14年	25校	12名	獣医師会が学校の飼育に関する相談に対処 動物の治療 教員向け講習会に協力 教育委員会の予算は通らず未契約 H16:教委は学校の特別予算を学校飼育動物に 使用しても良いと全小学校に通知した	実績収集中	今のところ行なっ ていない	講習会時(1 回/1年)に、 1万円の講 師料
平塚市						

6, 神奈川県 (他に川崎市、横浜市を政令都市に入れてある)